

立春を越えても春は名のみの[※]早春賦(そうしゅんぷ)。北海道・東北・北陸・山陰地方の豪雪地帯では被害も多く、被災された皆様には心からお見舞いを申しあげます。お陰様で本村では、例年より寒さが厳しかったものの雪害は殆んど無く安堵しています。春夏秋冬のメリハリのある日本でしたが、昨今は春と秋の期間が短くなり、四季ならず二季という説も出るほどです。思い起こせば昨年も長く暑い夏でしたが、そんな過酷な環境の中でも、本村と白川町の夏秋トマトの販売高は史上最高の2億7,400万円を達成したという報告がありました。厳しい自然環境を克服しながらも経済的な効果を追求する努力に大いに敬意を表すものですが、その背景には守るべき環境が存在することも事実です。

そこで、今月号では3月14日に発表を予定している「自然と共生する美しい村宣言」についてご説明したいと思います。

東白川村では、「日本で最も美しい村」連合に加盟して美しい自然景観を大切にしているだけでなく、村内の団体が協力して「温室効果ガスの削減」や「環境にやさしい林業」など、将来にわたって自然の恵みを受け続けられるようなさまざまな取り組みが行われています。実はこれらの取り組みは、他の地域と比べてもかなり進んでいるのですが、意外と村民のみなさんに知られていません。

これはとてももったいないことだと思います。

村で行われている先進的な環境への取り組みをもっと村民のみなさんに知ってもらい、「自分の住んでいる村はこんなに素晴らしい取り組みをしているということに誇りを持ってもらいたい。村外の人にも知ってもらいたい。これからも、自然を大切にする心を持ち続け、みんなで協力して、さらに環境への取り組みを進めていきたい。」そういった趣旨で、村議会・森林組合・商工会・農協・観光協会など関係9団体との連名で、広く村内外に宣言することに致しました。

宣言の前文では、自然が私たちの生活になくてはならないことを謳(うた)い、宣言本体では、3つの目標を掲げています。

- 1 ひとりひとりが、自然の役割や恵みについて深く理解し、東白川村の自然を誇りに思い、自然を大切にする心を育てられる村を目指します。**
- 1 村民・事業者・行政が力を合わせ、環境の保全に取り組み、地球環境の未来に貢献する村を目指します。**
- 1 自然を一方的に守るだけでなく、奪うだけでもない、「持続可能な利用」の道を歩み、自然とともに生きる村を目指します。**

この宣言が、将来に向けて持続可能な村づくりの大切な指針になることを願っております。

今年は通常の年度末ではなく、私の村長任期も残すところ僅(わず)かになり、新体制への引継ぎがスムーズに行えるよう新年度予算・人事体制の準備など慎重かつ大胆に進めてまいり所存です。

令和8年3月

東白川村長 今井俊郎